

# 6月は「環境月間」

東北地方太平洋沖地震により、東北・関東地方を中心に未曾有の災害を被りました。今回の震災については、私たちひとり一人でもすぐに支援協力できることはたくさんあります。

そのひとつが「節電」です。家庭で、オフィスで、ひとり一人が節電の努力をすることが、安定した電力供給につながります。ここでは、「家庭でできる節電方法」をお知らせしますので、節電にご理解・ご協力をお願いいたします。



- ①長時間使わない電化製品は、コンセントからプラグを抜いておく。
- ②主電源をこまめに切って、待機電力を節約。
- ③冷暖房装置の設定温度や、風向きを調節する。
- ④部屋の照明は、こまめな消灯を心がける。
- ⑤冷蔵庫は、壁から適当な間隔をあけて設置する。
- ⑥テレビは明るさを調節し、つけっぱなしにしない。
- ⑦電化製品の購入時は、省エネルギータイプのものを選ぶ。

## 環境騒音の状況・・・

市内の公園など幹線道路に面しない一般地域23地点で環境騒音調査を実施しました。

また、市内を通過する幹線道路沿道6地点で、24時間自動車騒音の監視を行ないました。結果として、一般地域では昼間の時間帯で子どもの遊ぶ声などで基準を超過した地点が数カ所あり、道路沿道においては、交通量の増加や自動車の高速化などにより、基準の達成状況もほぼ横ばい状態で、一層の環境改善が課題となっています。

※数値は昼間、( )内は夜間。

※環境基準の達成状況は、昼夜間共達成していた地点割合。

表 一般地域の環境騒音の状況

	市内平均	A類型の地域	B類型の地域	C類型の地域
騒音レベル(LAeq)	54(48)dB	53(42)dB	47(43)dB	58(55)dB
環境基準値(LAeq)		55(45)dB	55(45)dB	60(50)dB
環境基準の達成状況		85%	100%	63%

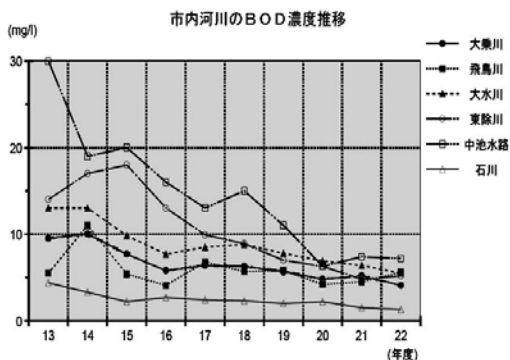
表 幹線道路の面する地域の環境騒音の状況

	市内平均	2車線以下の道路	2車線を越える道路
騒音レベル(LAeq)	69(65)dB	67(65)dB	71(65)dB
環境基準値(LAeq)		65(60)dB	65(60)dB
環境基準の達成状況		0%	0%

## 河川水質の状況・・・

市内を流れる河川6カ所で、水質の監視を実施しました。

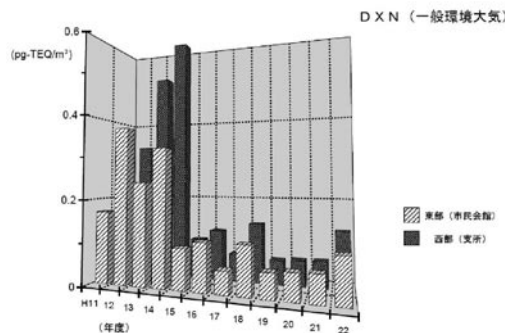
河川水質を代表する指標であるBOD(生物化学的酸素要求量)は、石川では環境基準値を達成していますが、その他の河川では、ほぼ横ばい状態で基準値達成には至っていません。引き続き、生活排水対策、下水道整備などの取り組みを進めることが重要です。



## 一般大気(ダイオキシン)の状況・・・

地域のダイオキシン類による汚染状況を把握するため、一般環境大気について、夏季と冬季に市内2カ所(市民会館・支所)で調査を実施しました。

市民会館は0.10pg-TEQ/m<sup>3</sup>、支所は0.13pg-TEQ/m<sup>3</sup>で、両地点とも環境基準値を下回っていました。夏季と冬季を比較した場合、冬季の方が若干夏季を上回っていました。



問合せ：環境衛生課 内線2820・2830

## 市民の手で清き飛鳥川を取り戻す取り組み

飛鳥川じゃこ取りネットワークは羽曳野市の東部を流れる飛鳥川で河川清掃をしています。

昨年度は80人を超える方に参加いただいた「飛鳥川大クリーン作戦」をはじめ、計7回河川清掃を実施しました。多くの子どもと大人が参加し、昨年は計205人以上の方にご参加いただき、軽トラック10台分のゴミを回収しました。流域の多くの方のご理解とご協力のおかげで、飛鳥川に落ちているゴミも時が経つ毎に減少し、美しい川に近づきつつあります。また、当会の活動についてはインターネットで「じゃこ取りネット」で検索し、当会のウェブサイトをご覧くださいいただけます。

